

ミクロ・マクロ経済学演習 基礎力チェック(マクロ編)

2012.9.26 担当：河田

学籍番号 _____

氏名 _____

1. $C(\text{消費})=a+bY(\text{所得})$ というケインズ型消費関数について考える。可処分所得とそれに対応する消費の関係が以下の通りであるとする。
 - ・可処分所得が 200 万円るとき、消費は 190 万円。
 - ・可処分所得が 300 万円るとき、消費は 260 万円。このとき、限界消費性向を求めよ。

2. 消費関数が $C=10+0.8Y$ で、投資が 100 兆円だとする。このとき、以下の問に答えなさい。ただし、 Y ：所得、 C ：消費支出、 I ：投資 とし、総需要は消費支出と投資だけからなるとする。

①このときの、均衡国民所得を求めなさい。

②さらに、均衡国民所得が 600 兆円まで増加するには、投資（ I ）はあとどれだけ増加せねばならないか。